※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「政治・経済」（東京書籍）						
副教材等	「政治・経済資料 2026」（とうほう）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・政治,経済,国際関係を理解することで,共通テストにおける高得点を目標とする。
・現代社会の諸課題について主体的に考察させる。
・公正な判断力を養い,良識ある公民を育てる。

2　学習の到達目標

・広い視野に立って,民主主義の本質に関する理解を深め,現代の政治,経済などの諸課題について正しい知識を身に付け,理解する。
・個人と社会生活との関係性について,深く思考・考察した上で公正に判断し,他者に伝える力を養成する。
・現代社会の様々な課題について,主体的に判断する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の社会的事象と人間としてのあり方生き方などに関わる基本的な事柄を理解し,その知識をきちんと身に付けている。 現代社会に関する諸資料を様々なメディアを利用して,適切に選択し,他者とともに生きる主体的自己の確立に資するよう活用している。	社会の中で他者とともに生きる主体的自己のあり方について考察,探究するとともに,良識ある公民として主体的かつ公正に判断して,その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に対する関心を深め,意欲的に課題を追究するとともに,これらに関わる現代の諸課題を考察し,個人としてのあり方生き方を考えようとする。

上に示す観点に基づいて,学習のまとまりごとに評価し,学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて,それぞれの観点を適切に配分し,評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	民主政治の基本原理	1　民主政治の成立	a: 政治の役割や，社会契約説における政府と国民との関係性について理解している。 b: 民主政治にとって権力分立がなぜ重要か考察し,適切に表現している。 c: ホッブズ, ロック, ルソーの社会契約説を比較し，共通点と相違点について考察し,探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　法と民主政治	a: 法の意義や，「法の支配」が民主主義に不可欠であることについて理解している。 b: 「法の支配」の考え方を踏まえ，立憲主義と民主主義の関係について理解し,適切に表現している。 c:私法に関する基本的な考え方を踏まえ，法が自分の生活にどのように関係しているか考察します法が自分の生活にどのように関係しているか話し合い探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		18歳からの社会参加① 18歳になるとできること	a: 成年年齢が変更された背景について理解している。 b: 成年を迎えたらどのような点に留意する必要があるか考察し,適切に表現している。 c: 成年を迎えたらどのような点に留意する必要があるか話し合い探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		3　基本的人権の確立	a: 基本的人権が確立した過程と人権保障の歴史的展開について理解している。 b: 基本的人権に関する原典資料を読解・比較し，基本的人権の確立や内容の変化について理解し,適切に表現している。 c: 人権の国際化のなかで日本の人権保障はどうあるべきか考察し話し合うことで探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	民主政治の基本原理	4　現代の民主政治	a: ファシズムが生み出された背景や，多数決原理にもとづく民主政治の課題について理解している。 b: 直接民主制と間接民主制を比較し，それぞれの長所と短所について理解し，適切に表現して居r。 c: ポピュリズムや「多数者の専制」の考え方を踏まえ，よりよい民主政治のあり方について考察し，これからの民主主義はどうあるべきか話し合い，探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		5　世界のおもな政治体制	a: 議院内閣制と大統領制の違いや，旧社会主義圏や旧植民地諸国における政治体制について理解している。 b: 民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映されているか考察し，適切に表現している。 c: 民主政治の諸原理が各国の政治体制にどのように反映され，どのような課題があるか話し合い，探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
	日本国憲法の基本原理	1 日本国憲法の制定と基本原理	a: 大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解している。 b: 憲法改正に関する議論について考察し，適切に表現している。 c: 憲法改正に関する議論について話し合い，自分の考えを共有している。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		2　基本的人権の保障	a: 基本的人権と自分の生活との関係，「新しい人権」の確立が求められている背景について理解している。 b: 「公共の福祉」はどのような場合に適用されるべきか考察し，適切に表現している。 c: 基本的人権が自分の生活のどのような場面に関係しているか考察し，「公共の福祉」の適用について，人権が対立する具体的な場面をもとに話し合い，探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
	日本国憲法の基本原理	平和主義	a: 憲法第９条をめぐる意見の対立や，日本の安全保障体制の変化について理解している。 b：近年の防衛関係費の増加や，政府の憲法第９条解釈の変遷の背景につい	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			て考察し,適切に説明できる。 ｃ：平和主義の下，今後の日本の安全保障はどうあるべきか考察し,探究している。			
	日本の政治機構	1　国会と立法	a：国会の権限や組織，運営について理解している。 b：日本の国会にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察し,適切に表現している。 c：国会における男女平等をどのように実現するか話し合い,探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　内閣と行政	a：内閣の権限や内閣と国会の関係について理解している。 b：日本の行政にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察し,適切に表現している。 c：日本と諸外国の行政の現状を比較し，日本では今後どのような行政改革を行うべきか話し合い,探究している。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		3　裁判所と司法	a：司法権の独立の必要性や裁判のしくみ，裁判員制度について理解している。 b：日本の司法にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察し,適切に表現している。 c：裁判員制度の意義を踏まえ，裁判員制度が抱える課題をどのように解決すべきか話し合い,探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
		4　地方自治	a：憲法における地方自治の規定や，地方自治における住民の権利について理解する。 b：日本の地方自治にはどのような課題があり，それをどのように解決すべきか考察し,適切に表現する。 c:地方財政が抱える課題をどのように解決すべきか話し合い,探究している。	定期考査	定期考査	口頭発表
	現代政治の特質と課題	1　戦後政治と政党	a：議会制民主主義において政党が必要な理由や，戦後日本の政党政治の変遷について理解する。 b：現代の日本の政党政治にはどのような課題があるか考察し,適切に表現する。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			c:「55 年体制」や金権政治の問題を踏まえ，細川政権下の政治改革の意義と課題について話し合い，探究する。			
		2　選挙と政治意識	a: 日本の選挙制度の特徴や選挙の課題について理解する。 b: 日本の選挙における低投票率を改善するにはどうすればよいか考察し，適切に表現する。 c: 日本の国政選挙にはどのような課題があり，どうすれば克服できるか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		3　世論と政治参加	a: 世論の形成過程，世論の政治への反映のしかた，NPO やインターネットが政治に与える影響について理解する。 b: 日本の政治における争点や政治的意見を踏まえ，自分が賛同する政治的立場について考察し，適切に表現する。 c: 日本の政治における争点や政治的意見について具体的な政策をもとに話し合い，自分が賛同する政治的立場について分析する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		18 歳からの社会参加②　選挙権の行使に向けて	a: 選挙権年齢引き下げの背景や選挙権を行使する意味について理解する。 b: 選挙権の行使に向けて，政党や候補者の主張をどのように検討すべきか考察する。 c: 政党や候補者の主張について話し合い，模擬投票に参加する。	定期考査	定期考査	口頭発表
	現代の資本主義経済	1　経済活動の意義	a: 希少性やトレードオフなど経済活動の基本原理について理解する。 b: 希少性の度合いと価格との関係性について理解する。 c: 商品を選択する際にどのような点を重視するか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　資本主義経済の発展と変容	a: 資本主義経済と社会主義経済の成立と発展について理解する。 b: 今日の資本主義経済にはどのような課題があるか考察し，適切に表現する。 c: 資本主義経済と社会主義経済にはどのような特徴があるか話し合い，探究する。	定期考査	提出物	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

２学期	現代経済のしくみ	１　経済主体と経済の循環	a: 家計および企業の経済活動や，各経済主体の相互関係について理解する。 b: 家計, 企業, 政府が行う経済活動について理解する。 c: 各経済主体がどのように関わることで経済が循環するのか考察し, 探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		２　生産のしくみと企業	a: 企業の活動や，株式会社の特徴について理解する。 b: 日本における株式保有比率が変化してきた理由について理解し, 適切に表現する。 c: 多国籍企業が世界にどのような影響を与えるか話し合い, 探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		３　市場経済の機能と限界	a: 市場における価格の役割や，独占禁止法による規制の必要性について理解する。 b: 需要曲線と供給曲線による価格の決定について理解し, グラフを用いて適切に表現する。 c: 市場占有率が高まることによる企業のメリットや, 独占や寡占の問題点について話し合い, 探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		４　国民所得と経済成長	a: 経済活動の規模や変化をとらえる指標や, 景気変動のしくみについて理解する。 b:インフレーションやデフレーションが国民生活にどのような影響を与えるか考察し, グラフを用いて適切に表現する。 c: 「より良い暮らし指標」をもとに, 日本の暮らしにはどのような特徴があるか話し合い, 探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		５　金融のしくみと機能	a: 金融の役割や，金融政策の手段について理解する。 b: なぜ金融の自由化が進められ，それは日本経済にどのような影響を与えたか考察し, 適切に表現する。 c: 1990 年代以降の金融政策とその効果について，諸資料をもとに話し合い, 探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		18 歳からの社会参加③　ライフプランと金融	a: 自分のライフプランを立て，それをもとにどの時期にどの程度の資金が必要か理解する。 b: 金融商品を購入する際にリスクとリターンのどちらを重視すべきか考察し，適切に表現する。 c: 金融リテラシーを高めるにはどうすればよいか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		6　財政のしくみと機能	a: 財政の役割や，公平な税制のあり方について理解する。 b: 日本の財政の課題を抱える課題や，持続可能な財政および租税のあり方について考察し，適切に表現する。 c: 国際的に突出した債務残高を抱える日本の財政は今後どうあるべきか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
	日本経済の発展と現状	1　戦後日本経済の発展	a: 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解する。 b: バブル経済が発生した理由と終わりを迎えた理由について考察し，適切に表現する。 c: 日米経済摩擦の対象となった商品はどのように変化したか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　日本経済の現状	a: バブル経済崩壊後の日本経済の状況や，2000 年代以降に試みられた経済政策が日本社会に与えた影響について理解する。 b: 日本経済が抱える課題を解決するにはどうすればよいか考察し，意見を共有する。 c: 所得格差を解消するためには何が重要か話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
	福祉社会と日本経済の課	1　公害と環境保全	a: 公害問題が発生する理由や，公害を防止する方法について理解する。 b: 持続可能な社会の形成のために自分たちにできることは何か考察し，適切に表現する。 c: 循環型社会の形成に向けて自分たちにできることは何か話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		2　農業・食料問題	a:戦後日本の農業政策の展開や，林業や漁業が抱える課題について理解する。 b：日本経済における農業の地位が低下したのはなぜか考察し,適切に表現する。 c：これからの日本の農業と食料はどうあるべきか考察し,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		3　中小企業の現状と課題	a：日本経済における中小企業の地位や，日本の中小企業が抱える課題について理解する。 b：日本経済の活性化のためにどのような中小企業政策が必要か考察し,適切に表現する。 c:経済活動の自由化と保護政策について考察し,話し合って探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		4　情報化の進展と社会の変化	a：情報化の進展が社会にもたらしているイノベーションや，「第四次産業革命」が社会生活にもたらす変化について理解する。 b：統計資料の読解を通して，日本における情報通信産業の発展について理解し,適切に表現する。 c：デジタル社会の課題にはどのようなものがあるか話し合い,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		5　消費者問題	a：消費者問題が発生する理由や，消費者保護のために行われている施策について理解する。 b：消費社会において，自分たち消費者にはどのような知識や行動が求められるか考察し,適切に表現する。 c：消費者市民社会の実現に向けて，自分たち消費者が取り組めることは何か話し合い,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		6　雇用と労働問題	a：労働問題が発生する理由や，憲法や労働三法が保障する労働者の権利について理解します。 b：雇用環境の変化と，非正規雇用者数の推移およびその理由について理解し,適切に表現する。 c：雇用・労働問題を取り巻く状況と，これからの日本の雇用のあり方について考察します。これからの日本の雇用制度はどうあるべきか話し合い,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		7　社会保障と福祉	a: 社会保障制度の発展と変化や，日本の社会保障制度の特徴と課題について理解する。 b: 国民負担率と社会支出の比率の国際比較を通して，日本の社会保障の特徴について理解し,適切に表現する。 c:少子高齢社会においてどのような福祉社会を築いていけばよいか考察し,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
	現代日本の諸課題	1　少子高齢社会における社会保障	a: 日本の子育て支援の現状について理解する。 b: 少子高齢社会における子育て支援について，諸資料を活用しながら家庭保育と集団保育などの視点を踏まえて考察し,適切に表現する。 c: 安心して子育てできる社会の実現に向けて社会保障政策はどうあるべきか，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
		2　地域社会の活性化	a: 地域社会の現状について理解する。 b: 地域社会の活性化について，諸資料を活用しながらブランディングなどの視点を踏まえて考察し,適切に表現する。 c: 持続可能な地域社会の実現に向けて地域社会の一員として自分にできることは何か，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
		3　多様な働き方･生き方の実現	a: 労働におけるジェンダー平等の現状について理解する。 b: 性別にかかわらず働きやすい労働環境の実現について，諸資料を活用しながらジェンダーなどの視点を踏まえて考察し,適切に表現する。 c: 性別にかかわらず働きやすい労働環境はどうすれば実現できるか考察し，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
		4　中小企業の意義と課題	a: 日本の中小企業の強みと課題について理解する。 b: 日本の中小企業の強みを活かす方法について，諸資料を活用しながら資金調達などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 中小企業の強みを日本経済の活力につなげるためにどうすればよいか，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート

※令和４年度以降入学生用

		5　日本の財政の健全化	a: 日本の財政の現状について理解する。 b: 日本の「福祉国家」としてのあり方について，諸資料を活用しながら政府の役割などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 日本の財政のあり方について，主権者としての考えをまとめる。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
		6　持続可能な食料・農業の実現	a: 日本の農業の動向について理解する。 b: 農業を魅力ある産業にする方策について，諸資料を活用しながら付加価値の創出などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 農業の多様な価値を踏まえた持続可能な農業の実現について，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
		7　防災と安全・安心な社会の実現	a: 日本が直面する災害とその対策の現状について理解する。 b: 自分が暮らす地域の防災・減災対策について，諸資料を活用しながら，個人の権利と「公共の福祉」などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 安全・安心な暮らしの実現に向けた自助・共助・公助の取り組みついて，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	口頭発表 レポート
	国際政治のしくみ	1　国際政治の特質	a: 主権国家と国際社会の形成過程や，国際社会の特徴について理解する。 b: 現代の国際社会には主権国家以外にどのような主体があるか考察し，適切に表現する。 c: 各国の市民が国境を越えて結びつき，国際社会に働きかけていくべき課題にはどのようなものがあるか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　国際社会と国際法	a: 国際社会の秩序維持の要因や，国内法と比較した国際法の特徴について理解する。 b: 過去 5 年間で日本が締結した条約を調べ，条約締結の一般的な流れについて理解，てきせつに表現する。 c: ICJ と ICC を比較し，どのような点	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			が異なっているか話し合います。国際司法機関がどのような役割を果たしているか考察し,探究する。			
		3　国際連合の役割と課題	a: 集団安全保障のしくみが必要とされた背景や, 平和と安全を維持するための国際連合の取り組みについて理解する。 b: 国際連合が抱える課題について考察し,適切に表現する。 c: 国連の関連機関を一つ選び, どのような活動をしているか調べ, 発表する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		1　戦後国際関係の展開と日本	a: 第二次世界大戦後の国際関係や, 冷戦体制の変化について理解する。 b: 原典資料や地図の読解を通して, 冷戦体制について理解し,適切に表現する。 c: 第二次世界大戦後, 日本はどのような過程を経て国際社会に復帰したのか考察し,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　冷戦後の国際関係と日本	a: 冷戦終結後の国際関係の変化や, 現在の国際社会が抱える課題について理解する。 b: 日本は国際平和や安全保障のためにどのように行動していくべきか考察し,適切に表現する。 c:「アラブの春」の際に民主化運動の発生した国々が現在どのような状況にあるか,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		3　地域主義の動き	a: 世界で地域主義が進んでいる理由や,EU の成立過程および特徴について理解する。 b: EU の意思決定がどのように行われるか理解し,適切に表現する。 c: 地域主義の動きに日本はどのように関わっているか考察し,日本は東南アジア諸国とどのような関係を築いていくべきか話し合い,探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		4　軍縮の動向と課題	a: 核抑止体制の問題点や, 軍縮をめぐる現在の動向について理解する。 b: 米ソ（ロ）の二国間条約に着目し, 軍備管理から軍縮への流れを適切に	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

			まとめる。 c: 日本は唯一の核兵器被爆国として，軍縮に向けてどのように取り組むべきか考察し，探究する。			
		5　紛争・難民・テロリズム	a: 国境を越えたテロリズムが多発している理由について理解する。 b: 地域紛争はどの時期，どの地域に多く発生しているか理解し，適切に表現する。 c: 地域紛争を予防し解決するためにはどうすればよいか，また日本は難民問題に対してどのように向き合うべきか考察し，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		6　国際社会における日本の役割	a: 日本の外交や安全保障が直面している課題や，今日の国際社会において日本に求められている役割について理解する。 b: 日本の領土や歴史認識をめぐる外交の課題にはどのようなものがあるか理解し，適切に表現する。 c: 日本の国際協力や開発援助はどうあるべきか考察し，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
	国民経済と国際経済	1　貿易と国際収支	a: 貿易の意義や，国際収支の各項目に反映される経済取り引きについて理解する。 b: 為替レートがどのような要因によって変動するか考察し，適切に表現する。 c: 統計資料をもとに，日本の国際収支の特徴について探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表
		2　戦後国際経済体制の展開	a: 現代の国際通貨体制の変遷や，近年経済政策の分野で各国の政策協調が必要になっている理由について理解する。 b: 先進国から発展途上国への資金の流れがどのようになっているか理解し，適切に表現する。 c: 地域経済統合やFTA・EPAが自由貿易の進展にどのような影響を与えるか考察し，貿易自由化を進めることによって生産者などが受ける打撃をどうすれば軽減できるか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

		3　発展途上国の経済	a: 南北問題の解消に向けた国際社会の取り組みや，新興経済諸国の現状について理解する。 b: 先進国から発展途上国への資金の流れがどのようになっているか理解し，適切に表現する。 c: BRICS 諸国が経済成長を続けている理由について話し合い，探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
3学期	世界経済の現状と課題	1　グローバル化する世界経済	a: 経済のグローバル化の進展や，近年の国際金融の変化について理解する。 b: 現在の世界経済はどのような課題を抱えているか考察し，適切に表現する。 c: 輸入制限措置をとると，世界経済にはどのような影響があるか考察し，探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		2　地球環境問題	a: 地球環境問題や，地球環境問題への対応をめぐる国際社会の利害対立について理解する。 b: 脱炭素社会の構築に向けて各国政府や自分にはどのような取り組みができるか考察し，適切に表現する。 c: 統計資料などをもとに，環境保護をめぐって先進国と発展途上国の主張が対立する理由について話し合い，探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		3　資源・エネルギー問題	a: 資源・エネルギーに関する課題や，原子力発電に関する日本および各国の政策について理解する。 b: 統計資料などをもとに，一人あたりのエネルギー消費量の多い国がどの地域に分布しているか理解し，適切に表現する。 c: 原子力発電に関する廃止と維持・推進の両方の考え方を踏まえ，将来のエネルギー供給のあり方について話し合い，探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表
		4　人口・貧困・感染症	a: 21 世紀の世界人口の変動予想や，貧困の発生要因について理解する。 b: 日本に暮らす外国人の実情および増加の理由について理解し，適切に表現する。 c: 貧困の連鎖を解消するにはどうすればよいか話し合い，探究する。	定期考査	定期考査 口頭発表	口頭発表

※令和４年度以降入学生用

	国際社会の諸課題	1　グローバル化にともなう社会変容	a: 日本の多文化共生をめぐる状況について理解する。 b: 多文化共生社会の実現について，諸資料を活用しながら文化の多様性などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 多様性を受け容れる社会の実現に向けて自分にできることについて，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	レポート
		2　地球環境と資源･エネルギー問題	a: 地球温暖化とその対策の現状について理解する。 b: 地球温暖化を食い止める方策について，諸資料を活用しながら利害調整などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 地球環境を将来世代に引き継ぐためにはどのようなルールや制度が必要か，考えをまとめて探究する。	定期考査	定期考査	レポート
		3　国際的な経済格差の是正	a: 貧困と開発援助の現状について理解する。 b: 開発援助のあり方について，諸資料を活用しながら貧困の多面性などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 開発援助のために身近な生活でできることについて，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	口頭発表
		5　民族問題と紛争の解決	a: パレスチナ問題の経緯と現状について理解する。 b:パレスチナ問題について，諸資料を活用しながら民族自決などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: 民族・宗教間の対立を防ぐにはどうすべきか，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	レポート
		6　持続可能な社会の実現	a: SDGs の達成に向けた取り組みの現状について理解する。 b: SDGs 達成の方策について，諸資料を活用しながら「だれひとり取り残さない」などの視点を踏まえて考察し，適切に表現する。 c: よりよい未来を実現するためにどのような方法が有効か，考えをまとめる。	定期考査	定期考査	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度